



Step by Step

～ ステップ バイ ステップ ～

ひたちなか市立大島中学校
第3学年だより 第7号
令和3年12月1日(水)

2021年の締めくくりを!



朝夕の寒さが身にしみる季節となりました。「師走」の言葉とともに、なんとなく気ぜわしさを感じます。大島中学校で共に過ごせる日々も残りあとわずか。友達と共有できる時間を大切にしたいと思います。

先日の三者面談では、大変お世話になりました。出願の準備もありがとうございます。三者面談を通して私立受験校が決まったり、県立高校への見通しをもったりしたことで、学習の取り組みに真剣さが増した生徒が多くなったように感じています。一方、生徒たちにおいては、度重なる試験によってストレスを感じることや、受験勉強の悩みなど、不安を抱える時期でもあります。生徒たちが安心して学校生活を送り、集中して学習に取り組むことができるよう、学年スタッフ全員で支援していきたいと思います。保護者の皆様も遠慮なく担任にご相談ください。

12月の行事予定

1	水		17	金	
2	木		18	土	
3	金	卒業アルバム写真撮影① 5・6校時 個人写真撮影	19	日	
4	土		20	月	授業参観・学級懇談会 PTA 総務委員会
5	日		21	火	SSW
6	月	卒業アルバム写真撮影② クラス写真 常置委員会⑦	22	水	
7	火	SSW	23	木	給食終了
8	水	私立高校 Web 出願締切	24	金	60周年記念集会
9	木	県生徒指導訪問(午後)	25	土	
10	金	生徒会役員選挙 口座引落日	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	学校閉庁日
13	月		29	水	年末休業日
14	火	実力テスト⑥	30	木	年末休業日
15	水		31	金	年末休業日
16	木				

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更となる場合があります。

1日(土)～3日(月) 年始休業日	11日(火) 月曜日課 常置委員会
4日(火) 学校閉庁日	20日(木)～28(金) 三者面談
6日(木) 午前中授業 給食なし	24日(月) 避難訓練
7日(金) 学年末テスト(5教科) 給食開始	31日(月) 実力テスト⑦
10日(月) 成人の日	



《令和3年度私立高校入試等の日程》

2022		1 月					私立高校等入試スケジュール ※近隣校中心	
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日		
27	28	29	30	31	01	02		
03	04	05	06	07	08	09	私立推薦入試	
10	11	12	13	14	15 茨城 常磐	16 水城		
17 キリスト 大成女子 5科	18 葵陵 茨城高専推薦入試	19 水戸女子 明秀日立	20 水戸啓明(前期) 発表:茨城	21 大成女子 3科 発表:水城	22 発表:常盤大学(web)	23		
24 発表:キリスト 大成女子 水戸女子	25 水城(再試験) 発表:常盤 水戸葵陵	26	27 発表:水戸啓明 明秀日立	28	29 水戸葵陵 (チャレンジ)	30		
31	01	※E: 水戸啓明(後期) 2月4日 茨城高専 一般入試 2月13日						

《私立高校受験に際する確認とお願い》

- ※ 受験票の印刷はご家庭でお願いいたします。
- ※ 受験当日は、教員の引率はありません。事前指導は行いますが、会場までの経路や準備物の確認等のご協力をお願いいたします。
- ※ 受験当日、体調不良等で受験が困難なときは、まず、受験校に連絡をし、その後大島中学校にご連絡ください。また、交通機関の影響で遅れそうなときも同様に連絡をお願いいたします。
受験の途中で生徒の体調が悪くなり、受験を続けることが難しい場合、保護者の方々にお迎えをお願いすることになります。
- ※ その他詳細については、後日連絡いたします。

○冬休みに服装、持ち物の確認をお願いします

- 1 スカート丈(膝が隠れる長さ)
- 2 学生服のズボン, ボタン
- 3 髪型(前髪が目にかからない, 清潔感のある髪型)
- 4 リュックに付けるキーホルダー(自分のものだと分かるように1つ。)
- 5 上靴(かかとが折れていないか。サイズが小さくなっている場合がありますので、確認をしてください。)

他に、筆箱や筆記用具等、文房具についても、声をかけているところです。入試直前に慌てて準備することがないよう、お願いいたします。

《1月の三者面談について》

今後、面談の予定を計画するにあたり、保護者の皆様の都合の良い時間帯の希望をとりたいと思います。24日（火）の終業式までに、ご希望日時のご連絡をお願いいたします。

また、冬休み前に「住所確認書」を一度お戻しします。それをもとに、冬季休業中に県立高校の願書の下書きを記入していただき、1/6（木）に担任に提出をお願い致します。

1月の三者面談で話し合うこと

- ①県立高校受検者 受検校の決定 ②茨城高専受検者 受検希望の確認
- ③私立進学内定者 卒業までの学習や生活

※詳細については1月の学年だよりでお知らせいたします

①の県立高校受検者は面談終了後、図書室で願書の作成をしていただきます。冬休みには、お子様と志望高校についてじっくり話し合う時間をもっといただければと思います。さらに、冬休みが入試前最後の長期休業となりますので、前記の通り受験の準備もよろしくをお願いします。

先日、「下校時、放課後の過ごし方」についての学年集会を開きました。部活動が終わり、早い帰宅ができていない生徒が多い現状が目立ち、話をしました。「1分1秒も無駄にできないと思う人が増えてくる時期です。時間の使い方を考え、自分で時間を見出すことが大事だと思います。」このような話をしました。

「三者面談で私立高校の受験校を決定したみなさんは、この後何をすべきですか？」…

「敵を知ることです。では、敵とは何でしょう？」

「とにかく過去問を解きましょう。敵（私立高校の過去問）にチャレンジして、敵（問題）の傾向を掴むことが大切です。」

受験前の大事な冬休みに学習にどのように取り組むか、学年集会で宇留野先生が話してくれた内容です。生徒たちがどのように感じたか、今後の生活に期待をしたいと思います。

今年の冬休みは、12日間です。受験生にとってまとまった休みはこれが最後です。追い込みの時期になりますが、勉強だけでなく、自分の生活を見直す良い機会となります。冬休みをどのように過ごすか…を一人一人よく考えておくことが大切です。

①生活習慣を整える。

- ・1日の起床時間、就寝時間を固定し、生活リズムを整えておくこと。
- ・朝・昼・晩の食事をしっかりと摂る。（栄養は大事！健康第一！）
- ・睡眠時間を確保すること。

（適度な睡眠は、体調面を安定させるだけでなく、記憶力や集中力が高い状態を保てます。）

②計画的な勉強を毎日実行する。

- ・毎日の学習の計画・目標を立てる。
- ・時間を決めて1つの問題を解いてみる。
- ・敵（入試問題）を解き、苦手の発見を克服の手段とする。その苦手を重点的に復習する。（時間を計って本番のつもりで問題を解く。）
- ・塾だけに頼らず、自分で学習する時間を確実に確保する。

③強い気持ちをもつ。

- ・初めての受験はみんなプレッシャーがあります。合格できる！と信じる心をもって学習に取り組みましょう。

☆後期学級委員紹介&意気込み☆ (一部抜粋です)

《1組》

3年生の後期は受験・卒業・中学校最後の大切な期間なので、この学級で良かったと思えるようにしたい。

西野 友大

受験生としての自覚が芽生え、雰囲気作りを確実に行いたい。残りの数ヶ月を良い雰囲気で作らせるように頑張ります。

大類 圭悟

学級委員として、学年全体をよりよくするために、しっかりとまとめることができるように頑張りたいです。

鴨志田 真緒

私が学級委員として頑張りたいことはクラスをまとめること、みんなが勉強できる雰囲気作りです。

吉田 伊織

《2組》

学級委員として、クラスをまとめたり、学年やクラスで行う行事などで中心となって行動できるように頑張りたい。

齋藤 勇仁

「3分前着席」などの取り組みをクラス全員が行うことができるよう、しっかりと声かけができるよう頑張りたい。

伊藤 悠那

周りを見て行動したり、その場に合わせて臨機応変に対応したりして、学級委員としてふさわしい行動ができるように頑張りたい。

来栖 愛佳

1・2年生でも学級委員をやっていたので、その経験をいかして、学級への声かけを心がけていきたいです。

岩本 藍騎

《3組》

初めて学級委員になりましたが、クラスをまとめて引っ張れるようにしたい。また、自分の役割を理解し務めていきたい。

中庭 拓海

中学校最後の学級委員として最後までみんなをまとめられるように頑張りたい。

また、代議員として自分から行動したい。

坂倉 花

学年で受験に向かって雰囲気を作っていけるように意識をしたい。また、自分で意見を出したり、積極的に話合いに参加したりしたい。

綱川 乃蒼

後期学級委員として、授業の始まりと終わりの号令を大きな声で頑張りたいと思います。

山脇 一吹

《4組》

3年間学級委員を務めた経験を生かし、学級全体が今よりもっと笑顔で満ちあふれるように頑張りたい。

黒沢 李音

挨拶や身だしなみなど最高学年としてふさわしい態度を心がけて、周囲にも気配りできるように頑張りたい。

小池 莉愛

学級委員として、受験生の自覚をもてるような呼びかけや挨拶を積極的に頑張りたい。

中西 湊太

3年間最後の学級委員として、最後まで手を抜かず、みんなを全力でサポートしようと思います。

照沼 助友

《5組》

受験に向けてクラス全員のモチベーションを上げ、全体をまとめられるような学級委員になりたい。

加藤 悠人

学級委員として、他の学級委員の足を引っ張らないように、やるべきことをしっかりとやりたい。

西野 美空

受験に向けて、生活面で身だしなみに注意しなければならないので、みんなに意識してもらえるように頑張りたい。

野澤 奨吾

前期学級委員から引き継ぎ、受験に向けての雰囲気づくりや声かけを積極的に行えるよう頑張りたい。

齋藤 聖華

☆新樹祭 合唱コンクール☆

今年度は、例年よりも短い時間の中での合唱練習となりましたが、生徒たちは、過去2年間とは違い、各学級とも最初から学級が一丸となって練習に取り組んでいました。当日の昼食後も、文化会館の外で、学級ごとに最後の声出しに余念がありませんでした。3年生の合唱はとても難しかったのですが、短期決戦の集中力と団結力の成果が、あの素晴らしい合唱になったと思います。どのクラスも聴いている人を感動させる合唱になりました。大きなホールで学級の仲間と歌えたことはとても良い思い出になったのではないかと思います。

◎ 新樹祭 合唱コンクール結果発表

☆ 合唱 **金賞**:3年3組 ♪信じる

☆ 合唱 **銀賞**:3年4組 ♪手紙

☆ 指揮者賞:3年3組 湯澤 勇仁さん

☆ 伴奏者賞:3年3組 古川 慶悟さん



☆新樹祭を終えて☆ (一部抜粋です)

最後の新樹祭で、初めてのパートリーダーになって、上手くまとめられるかという不安があった。また、曲の最後の部分にある soli を歌う責任もあった。練習を積んでいくうちに不安はなくなり、全員で素晴らしい合唱を作り上げたいという思いに変わった。本番では、賞を取れなかったけれど、最高の合唱ができて、多くの人と1つのものを作り上げることの難しさや素晴らしさを感じることができた。 1組 吉岡 琉生

中学校最後の新樹祭ということもあり、心にぐっとくるものがあった。1、2年生のとき以上に工夫を重ねながら練習をした。本番ではとても緊張したが、歌っていくうちに自信がみなぎり、歌い終えたときには達成感があった。賞は取れなかったけれど、今までで一番心に残って、決して忘れることができない行事となった。 1組 久保田 悠翔

新樹祭では、団結力がより深められた。練習では、あまり声が出なかったり音程が合わなかったりした。本番では、いつもより緊張したけれど、いつも通りの声で歌うことができて良かった。 1組 高野 明里



全員が全力を出し、最高の合唱ができた新樹祭、すごく楽しかった。練習開始当初は自分のパートの正しい音程が分からず、やる気がないことがあった。しかし、濱野先生の思いや、歌の背景、歌に込められた思い、歌詞一つひとつに詰まった当時の人々の感情を知り、「これらの思いを背負って歌おう」と思った。それからは、先生たちにアドバイスをいただいたり、授業外でも自分たちで努力したりした。本番で歌っているときは、クラス全体の一体感を感じた。学級発表もすごく感動したし、すべてにおいてベストを尽くせたと思う。

2組 鈴木 勇翔



新樹祭を通して、クラスの仲が深まったと思う。本番では、全員で声を出して歌い、一人一人が曲の歌詞の意味を考えて歌うことができたのではないかと思う。新樹祭での目標として、「黄金に輝く自分」を目指していた自分の姿としていた。ぼくは、クラス全員が黄金に輝いていたと思う。

2組 鴨志田 一也

新樹祭から学んだことは、仲間の大切さです。最初は声小さくどうなることかと心配でしたが、練習を重ねるたびに良くなっていったのが実感できました。賞をとることはできなかったけれど、仲間を信じ、本番では今までで一番の合唱をすることができたので良かったです。私は合唱コンクール副実行委員長として、学校に貢献することができました。残り少ない中学校生活ですが、新樹祭で深まった絆を大切にすごしたいです。

2組 米澤 明日香



本番では、ステージに立ったとき、緊張したけれど、自分の素を出すことができた。家に帰ってから自分たちの歌を聴いて、特にサビの部分では自分の声が響いていて、思っていたより声が出ていたんだと思った。「やればできる」という自信がついた。1カ月と短い時間だったけれど、一つの同じ目標に向かって共通の時間を過ごせて良かった。

3組 石川 遥希

新樹祭で心に残ったことは、金賞をとれたことです。始めのころは、クラスがまとまらず練習が進まないときがありました。本番が近づくにつれてみんなの心が一つになり、声一つになり、きれいな声を出せるようになりました。女子のアルトとソプラノがきれいに重なるようになり、男声の力強い声が「信じる」という曲の力強さを表現できたと思いました。自分のクラスが金賞と言われたときはすごくうれしくて涙が出てきました。中学校最後の新樹祭で金賞をとれてうれしかったです。

3組 小川 心未

新樹祭で学んだことは、人と協力して何かを行うことの大切さです。特に合唱コンクールの練習は、クラスのみならず協力する必要性を感じました。金賞をとれたのは、クラスメート一人一人が金賞のために頑張ろうという思いと、日頃の練習の成果だと思えます。新樹祭を通して、「クラスのみならず協力できる姿」という目指したい姿に少しでも近づけていると思います。

3組 内山 拓望



私は、合唱を通してみんながまとまることの難しさを学びました。初めはみんな声も出なくて「頑張ろう」と思っている人も少なく、ばらばらでした。でも、だんだん声も出るようになってきて、気持ちもまとまっていくのを感じました。本番では、ホール中に自分たちの合唱が響いているのを感じました。仲間の大切さを改めて感じる合唱コンクールでした。とても楽しかったです。銀賞をとれて良かったです。

4組 白岩 あやな



新樹祭では、クラスの皆がまとまれたと思う。いち早く練習を始め、毎日欠かさずに練習を続けたので、それが銀賞につながったのかなと思う。あまり練習に集中できず、ギクシャクしたときもあったけれど、最後に一つにまとまることができ良かった。

4組 穂山 空冴

3年生最後の合唱だから、思い出に残るような結果がほしかったので、頑張って練習した。クラス紹介の練習も頑張って取り組んだ。しかし、本番直前の練習でクラスに亀裂が入ってしまった。その日に解決はしたが、私はとても心配だった。その後は前よりみんなが真剣に取り組み、みんなの本気度が分かりうれしかった。本番では緊張したが、銀賞をとれてとてもうれしかった。

4組 磯前 ほのか



今回の新樹祭で、ぼくは満足のできる歌が歌えたと思った。休校が続き、練習できた期間は1カ月ほどしかなかったが、みんなでパートごとの目立つところや声量を気にして頑張れたと思う。いざステージに立ったときはとても緊張していたが、いつも通りに・・・と考えて、練習した成果を出せたような気がした。

5組 根立 侑和

新樹祭に向けての合唱練習では、全体で歌ったり、パートで歌ったりの繰り返しでしたが、1回1回を大切に歌いました。また、合唱を歌うにつれて、どんどん上手になっていき、クラスが一つになっている気がしました。金賞をとることはできなかったけれど、今までで一番上手く歌うことができたので良かったです。

5組 瀬尾 俊介

合唱の練習では、パート内で意見を出し合ったり、工夫したりして練習できた。声量が足りなかったり、目立つところが目立たなかったりして、うまく練習が進まないときもあったけれど、諦めずに最後までできた。本番では、金賞はとれなかったけれど、自分たちらしい歌が歌えて良かった。とてもいい新樹祭になった。

5組 大内 和奏



☆学年体育祭では、たくさんのご声援ありがとうございました。体育祭については次回学年だよりでお知らせします。